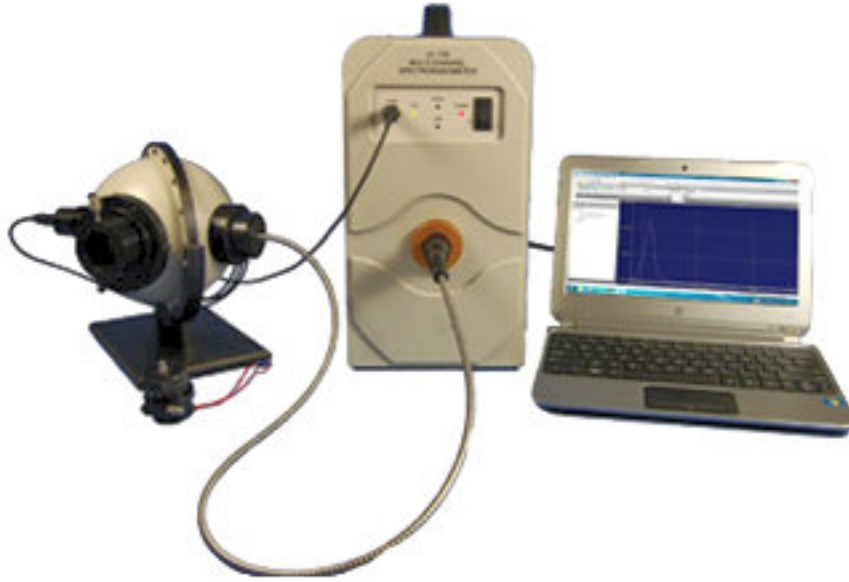


OL770-InGaAs 近赤外(NIR)分光放射計



OL770-InGaAsは、850～1700nmの波長範囲をカバーする高速マルチチャンネル分光放射計です。

従来のOL770シリーズUV/VIS(200～780 nm)およびVIS(380～780 nm)、VIS/NIR(380-1100nm)に加えて、近赤外測定に特化したモデルになります。

アプリケーションは、太陽電池シミュレーションやIRED/赤外LED測定、ケモメトリックスや大気吸収評価まで多岐にわたります。OL770製品のモジュラー設計により、InGaAsシステムを既存のセットアップに簡単に統合して、追加のアクセサリを調達することなく、さらに広いスペクトル範囲をカバーできます。

OL770-InGaAsは、品質や精度を犠牲にすることなく、高速な測定結果を必要とするお客様向けに設計されました。研究開発の目的で使用するのに十分な測定精度ですが、生産現場で迅速な品質評価を実行するのにも適しています。

制御電子機器、分光器、および検出器は、1つの頑丈な筐体に収納されています。大型の走査型分光放射計と比較して、軽量で設置面積が小さい設計により、携帯性が必要な環境での使用に理想的な機器になっています。

本機にはRS-232とUSBの両方のインターフェースが装備されているため、PCホスト用のプラグインカードは必要ありません。電源はOn/Offスイッチを押すだけですばやくセットアップできます。

光ファイバーはユニット前面の入口ポートに差し込まれ、ユーザーはテストモジュールを任意の位置に配置できます。独自の内部分光器は、収差補正された凹面のフラットフィールド回折格子に基づいており、分光器の精密光学系は、優れた迷光除去性能、高い波長分解能および波長精度を提供します。標準のグレーティングは、0.85～1.7 μ mの波長範囲で動作します。

交換可能なスリット(標準:100ミクロン)は、筐体正面の入口ポートに搭載されます。スリットサイズはオプションで選択でき帯域幅を変えることが可能です。

品質・一貫性・連続性を必要とするレンズや光ファイバーの特性評価を検討している場合でも、OL770-InGaAsは絶対に必要な測定器です。

ソフトウェアの特長



- Windowsに対応
- リアルタイムに測定結果を表示
- テストレポートテンプレート
- Excel及びWordに出力可能
- 測定データの表示、記録、保存
- カーソル機能
- リアルタイム合否判定機能
- データ取得用トリガー機能
- ピーク波長
- 波長幅(FWHM)
- 光パワー
- 強度分布
- 全光束
- 放射強度
- 時間分析用積算グラフ
- Active XコントロールSDK

主な測定アプリケーション



- 太陽電池シミュレーション
- IRED/赤外LEDの測定
- レンズ/光ファイバー等の特性評価
- ケモメトリックス/分光分析
- 大気吸収評価

OL770-InGaAs 仕様

測定波長範囲	850nm ~ 1700nm
波長精度	±1.0nm
半値幅 (100μmスリット時)	<10nm
ピクセル数	512
波長分解能	約1.8nm
スリット(選択可能)	100μm(標準仕様) 50μm/200μm(オプション)
ファイバー焦点距離	140mm
ファイバー	直径1mm、長さ1m
ファイバー口径	f/2
操作環境温度	5 ~ 30℃
受光部冷却温度	0℃
積分時間	0.001秒 ~ 10分
A/D分解能	16bits
A/Dサンプリングレート	250kHz
入力電圧	100/115/220/230 Vac
インターフェース	USB/RS-232
寸法	W18.4 x H33.6 x D33.0cm
重量	10.2kg

OL770シリーズ対応波長

770-UV/VIS	200 ~ 780nm
770-VIS	380 ~ 780nm
770-VIS/NIR	380 ~ 1100nm
770-InGaAs	850 ~ 1700nm

